

吹田市議会

発行/自由民主党絆の会 〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号(吹田市役所内) 自由民主党絆の会 会派控室



自由民主党

# 絆きずなの会通信

自由民主党絆の会いずいの泉井 ともひろです。



介護福祉士/子育て世代

今回は会派を代表して質問を行いました!

## 吹田市議会9月定例会・平成28年度決算常任委員会報告(合併号)

質問

①

### 『ドローンの活用について』

1つ目の質問は吹田市では整備されていないドローンを導入し、災害時や広報で活用するよう質問と提案!  
答弁では導入に向け、前向きな答弁を引き出しました。

質問

②

### 『吹田市立少年自然の家もくもくの里について(滋賀県高浜市)』

さまざまな自然体験ができ、シーツ代150円で2泊3日まで宿泊できる吹田市の施設を家族単位の少人数グループでも利用しやすく、また冷暖房の整備など幅広く使ってもらえる施設にすべきでは?という質問、提案などに対して、前向きな答弁を引き出しました。

質問

③

### 『小中学校の人数格差およびトイレの改修について』

今までにない答弁を引き出しました!あとは現場の意識次第!(裏面へ)

質問

④

### 『虐待への対応について』

先進的に取り組んでいる本市の施策を広くPRし、抑止力等を向上するよう要望!

質問

⑤

### 『議案第102号吹田市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について』

1人の請求人による極端な大量請求に対して、その経費の一部負担を求める条例改正案です。  
会派として受益と負担のバランスなど、総合的に判断し、賛成しました。その理由等は裏面へ!

質問

⑥

### 『福祉施策について』

過去の政権が作り出し、多額の予算が使われている、突出した偏り施策を追求しているいつもの懸案事項や、利用者の安全が担保出来ていない吹田市の責任問題について指摘しました。

## 責任と行動! 吹田のために徹底討論!!

会派通信にて議会報告をさせていただきます。これまでの議会報告や、その他委員会のこと。  
議員を目指すきっかけや近況、出来事など泉井に関する情報を「泉井ホームページ」で専門用語を出来るだけ使わずに掲載していますので、あわせてご覧ください。



## 平成29年9月定例会は9月1日から9月21日まで、 平成28年度決算常任委員会は9月26日から10月20日まで開催

(一部抜粋し、簡潔に報告しています)

### 質問 ③ 『小中学校の人数格差およびトイレの改修について』

この手の質問に対しては、今まで当たり障りのない答弁をしてきた教育委員会でしたが、今回は多様性を認めるといった前向きな答弁をされました。

それは、平成29年5月現在、児童数が最も少ない小学校は207人、最も多い小学校で1,297人。生徒数が最も少ない中学校は249人、最も多い中学校で812人と人数格差が生じている状況下で、その教育環境について質問しました。

質問に対して市は、それは学校の課題だけではなく良さもあり、児童生徒数を多様性ととらえ、子供・家庭・地域の状況をふまえて、各学校の特色づくりを行うという答弁。

そして、そのような答弁をふまえ、例えば各校長の権限と予算執行権を強化して各校で特色のある学校づくりができるよう、市として補助する仕組みを構築、分権化して各校の競争意識を高め、さらには教育レベルの向上と活性化に取り組むことが重要ということで、市長に提案と質問をしました。

以下『市長答弁』(抜粋)

これまで学校間の教育環境の違いを「多様性」と前向きに捉える考えは、少なくとも本市教育委員会においては明確にしていなかった。

只今、学校の多様性をとらえ、権限と予算のあり方を検討する旨の答弁があったが、教育委員会として、新たな方針を明らかにしたと受け止めた。

来年度より、予算執行権を持つ市長部局として、各校の多様性を尊重し、特色ある学校運営を目指す新たな方針を支援したい。  
※トイレの改修については、ドアが無く中が丸見えになっていることなど、今後の対応策について確認と要望をしました。

### 質問 ⑤ 『議案第102号吹田市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について』

この案件は1人が請求した48,033枚(その他8,059枚、3,610枚)という極端な大量請求により、その対応に要した時間約1,330時間、人件費345万円、その他コピー代など物品費19万円が、その請求人により消費されていることで受益と負担のバランスが崩れている。(※その他の計11,669枚を合わせると約404万円)

また、改正案に反対していた議員を含む、市民の方々が口をそろえて「請求にあたる原因は市にあった」と言われていたが、その理由や内容が表に出てこないのが信憑性に欠けているところ。そして一定枚数以上(100枚まで無料)の情報公開請求について一部の費用負担を求めるだけで、何も「情報公開をしない」と言っているわけではなく、請求人は引き続き原則それらの制約を受けることなく自由に情報公開請求を求めることができる。審議会にて承認を得ているなどの理由により賛成しました!

大阪維新の会が反対意見で、政務活動費の情報公開請求をすべて行うと4000枚にも及ぶ。これは市民が議会をチェックする機会に影響するといったような意見をしていたように聞こえましたが、H28年度分からの政務活動費の領収書等はすべて市議会ホームページで確認できるようになりましたので、わざわざ情報公開請求をする必要があるのか疑問です!  
ということで、必要な方は市議会HPをご活用、ご確認いただければと思います。

そして平成28年度決算常任委員会(健康福祉分科会)では、これまでに指摘をし、条件付きで賛成した案件の確認と、効果検証のされていない補助金や委託金のあり方について強く指摘をしました。それらに対して市は、福祉部に関わる全ての事業について、一旦しっかりと精査をする。またスピード感をもって進めていくという答弁を頂きました。



これからも責任ある発言と政策提案で吹田の未来を守ります!!

詳しくは「泉井ともひろホームページ」をご覧ください。

泉井ともひろ

検索

URL izui-tomohiro.com

OFFICE 〒564-0063 吹田市江坂町3丁目28-1 TEL080-2476-6545 FAX06-6386-5039



市政相談いつでも受付中!

吹田市議会

検索

本会議の様子は録画映像でご覧いただけます。 ※スマホ不可